

平成 28(2016)年 10 月 24 日

大学関係者各位

第 37 回大学職員「人間ネットワーク」運営委員会

第 37 回 大学職員人間ネットワーク【11/26 福岡】のご案内

第 37 回大学職員人間ネットワークを以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催テーマ 「本物の職員力」

講演：『SDの義務化、その背景とこれからの職員論』

講師：篠田 道夫 氏（桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授）

開催日時 平成 28 (2016) 年 11 月 26 日 (土) 13:30~(当日の詳細は次頁以降をご覧ください)
受付 11:30 より

会場 筑紫女学園大学（福岡県太宰府市石坂 2-12-1）

参加費 研修会（会員：無料 一般：1,500 円）

情報交換会（会員/一般：6,000 円）

※参加費は当日受付でお支払いください

※情報交換会は宿泊場が会場です

宿泊 こちらで取りまとめます。

二日市温泉「大観荘（だいかんそう）」（福岡県筑紫野市湯町 1-12-1）

TEL092-922-3236

申込締切 : ※受付は 11/16 で終了いたしました。今後の変更、追加等につきましては、
takeyama (@) chikushi-u. ac. jp までメールをお願いいたします。

《第 37 回 開催趣旨》

私たちがいま身につけている「職員力」は本物でしょうか？どこに向けてどのようなときに発揮することができるのでしょうか。私たち大学人は今後、自然災害やダイバーシティへの対応をはじめ予測不可能な時代に向けて、個の力としても組織の力としても新たなマネジメントスキルを磨く必要が出てきました。これからの職員力はその他にどのようなものが必要でしょうか。

SDの義務化を前に今後、職員と教員が手を携えて大学と学生を牽引していくにはどうしたらいいのか、今大会では「大学職員論」の大家であり、長年大学組織論・職員論を提唱してこられた、篠田道夫氏を講師にお招きします。今回の大学設置基準改正の審議の場におられた講師より、この背景にある真の狙いや理想を中心に、あらたな大学職員論についてご教示いただきます。

また、基調講演後には大学を超えた参加者同士で語り合い、これからの職員論を再確認します。SDの義務化を主体的なものにとらえることはもちろん、参加者が具体的な実践力を身に着け発揮するためにどのようなことを翌日から実行するのか、「これからの職員論」を各自持ち帰れるような機会としたいと考えています。

本会は 17 年前、大学職員の学びの選択肢がさほど多くなかった時期に、「サロン」的な雰囲気と人とのつながりをコンセプトとして誕生しました。今回も、大学や教職員の枠を超えたサロンの中で皆様と創発的な学びの場を共有したいと思っております。どうぞお気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

《11月26日(土)》

会場の筑紫女学園大学は、太宰府市にあります（注：福岡市内の中高校舎とは離れています）。近くには九州国立博物館があり、太宰府天満宮からはタクシーで5分ほどです。お時間がある方は、天満宮散策をされてからの来学もお勧めです。小さな地方の大学です。正門に入られましたら会場がわかるように掲示にてご案内させていただきます。お気を付けていらしてください。

11:30～ 受付開始（4号館3階：1号館1階よりお入りください）
11:30～12:00 会員総会
12:00～13:20 キャンパスツアー（希望者は受付前までお越しください）

◆第1部 研修

13:30～13:45 開会
13:45～15:15 基調講演
15:30～16:30 グループ討議
16:45～17:00 討議内容共有
17:00～17:20 講師講評・総括
17:20～17:30 写真撮影、閉会
17:45 情報交換会会場へのバス出発（宿泊者は到着後チェックイン）

◆第2部 情報交換会

19:00～21:30 二日市温泉「大観荘（だいかんそう）」
※情報交換会参加者は無料で温泉を利用できます。

《アクセス》

研修会会場校⇨ 筑紫女学園大学 11:30～ <http://www.chikushi-u.ac.jp/access/>

大学からの最寄り駅は、①西鉄太宰府駅 ②JR 二日市駅 です。

- ①西鉄太宰府駅よりタクシー5分（ちなみに徒歩では15分強あります）
- ②JR 二日市駅よりタクシー15分、路線バス20分 ※1時間に1本です。
※毎時56分発→毎時16分着 360円（4人そろえばタクシーでも…）
- ★博多駅バスターミナル（1階11番のりば）から太宰府駅高速バスもあり。
太宰府駅①へ到着します。詳細：http://www.nishitetsu.jp/bus/rosen/dazaihu_liner.html

情報交換会会場⇨「大観荘」 19:00～21:30 <http://www.daikanso.co.jp/>

研修後、会場大学からは宿のマイクロバスで参ります。

- ・福岡空港国内線より高速バスが便利・25分程：「筑紫野（ちくしの）」で下車、地下の細い歩道を通ります。
- ・JR 二日市駅から徒歩で20分程：タクシーが便利・700～800円程度
- ・西鉄二日市駅から：タクシーで800～1000円程度

《宿泊》 二日市温泉 大観荘（だいかんそう）<http://www.daikanso.co.jp/>

この時期、福岡の宿事情は大変混み合いまた高額になっております。つきましては本会にて、11月26日（土）の宿として40名様分のお部屋を確保しました（2～4名様1部屋。1泊朝食付き：10000円。情報交換会費別）。是非ご利用ください。宿泊のお申込みも、申込みフォームよりお願いします。研修会後天然温泉から上がり、大広間での情報交換会でディスカッションの続きをしましょう。

《オプションツアー11月27日(日)》

～水郷の街 柳川をたのしむ～



西鉄電車のデザイン列車「水都（すいと）」に乗り、30分程南下。詩人北原白秋のふるさと「水郷の街柳川」を、柳川一若い船頭さんの歌と説明でお堀めぐりをします。うなぎのせいろ蒸しの昼食のあと、時間の許す限り柳川藩主立花邸「御花」など、街の散策をおたのしみください。



◆スケジュール◆

9時40分 ホテル出発（ホテルのバスで最寄りの駅まで送っていただきます）

～西鉄列車「水都」にて柳川へ移動～

11時00 西鉄柳川駅到着（舟会社の送迎バスあり。大きな荷物を預けます）

11時30分～12時30分 柳川川下り（寒い場合は炬燵舟を準備）

12時30分～13時30分 昼食会（うなぎのせいろ蒸し）

～柳川の街を散策～

15時 西鉄柳川駅を出発（16時30分頃博多駅・空港着）

※ただし、博多駅・空港へ早目に行かれる方のために【14時出発組】もご案内いたします。

【14時出発組】前日お尋ねいたします：[14時西鉄柳川駅を出発（15時30分頃博多駅・空港着）](#)



◆費用◆ 川下り舟代、昼食代、飲み物 合わせて5000円内

（この他、駅間の交通費は自己負担です。全国の交通電子カード使用可能二日市～柳川～福岡天神1,520円）

○その他のお誘い ～当日朝のきまぐれ散歩～(予約不要)○

朝、出発前に少し早く起床してみませんか。宿から徒歩5分。歴史小スポットがあります。九州最古の仏蹟「武蔵寺（ぶぞうじ）」、菅原道真公が無実を訴えたといわれる天拝山（標高258mの緩やかな散歩山。通常の運動靴で十分可能）など、普段はわざわざは行かないところを案内します。戻ってきたら朝風呂や、豆乳鍋の朝食などで出発までお楽しみください。

事前の申し込みの必要はありません。当日朝の気分で集合してください。

〈予定. 前日夜に、詳細お知らせします〉

6:30 ホテルロビー集合

6:40～7:50 山道散歩【武蔵寺、天拝山登山（天神さまの径ルート）等】

7:50 ホテルへ戻る

9:40 チェックアウト（⇒オプションへ）



《参加申込》 以下 URL より必要項目を指定してください。

※受付は終了いたしました。なお今後の変更、追加等につきましては、[takeyama\(a\)chikushi-u.ac.jp](mailto:takeyama(a)chikushi-u.ac.jp) までメールをお願いいたします。

●お願い 次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配付いたします（項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです）。予めご了承ください。
- ② 会員の方は身分証になりますので必ず会員証をご持参ください。

問い合わせ先 大学職員「人間ネットワーク」
会長：竹山優子 [takeyama\(a\)chikushi-u.ac.jp](mailto:takeyama(a)chikushi-u.ac.jp)



【大学職員「人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言い換えれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると 1998 年（平成 10 年）に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公私大、教職員の枠組みを超えて相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなっている。日本の大学が、国公私大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

(2015 年 10 月)

【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ	主な講師
第 1 回	愛 知	平成 10 年 12 月		21 世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について	
第 2 回	東 京	平成 11 年 6 月	日 本 大 学 理	履修登録システムの事例報告	
第 3 回	京 都	平成 11 年 12 月	龍谷大学・京都外国語大 学	FD 活動についての現状報告	

第4回	福岡	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて	
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県立大学	「著作権」についての理解	
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」	
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証	
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは	
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討	
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは	
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について	
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)	
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について	
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について	
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題	
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学	
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える	園田 博美
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割	寺崎 昌男
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割	坊岡 正之
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論	長尾 年恭
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス	川畑 直人
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』	秦 敬治
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART2』	高野 克己
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』	(ディスカッション)
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考える PART2』	寺崎 昌男
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』	浅野 英一
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』	樋口 浩朗他
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』	山本 啓一
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が返る-	中元 崇
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』	川嶋 太津夫
第31回	東京都	平成25年12月	国士舘大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』	下村 誠
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学(大橋キャンパス)	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』	船戸 高樹
第33回	愛知県	平成26年12月	椙山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』	池田 輝政
第34回	京都府	平成27年6月	京都学園大学	大学の使命 第7弾 『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える』	村田 淳
第35回	広島県	平成27年11月	広島工業大学	大学の使命第8弾 学生の主体的学びへの支援 学びを促進する学習支援とアカデミックアドバイザー	清水 栄子
第36回	東京都	平成28年7月	東京家政大学	大学を創る、未来を創る「大学史の原点と未来。不可視の未来を見据え、今何をすべきか」	寺崎 昌男